

平成30年度 学校自己評価システムシート (県立杉戸農業高等学校)

目指す学校像	いのちとみどりを育む学舎で、人間性豊かな心身ともにたくましい産業人を育成する。
--------	---

重点目標	1 授業をはじめ教育活動を改善して実施することにより、生徒の学力の向上を図る。 2 基本的な生活習慣を身に付けさせ、社会人として評価される人材を育てる。 3 効果的な指導を計画的に行うことにより、生徒の進路希望を実現させる。 4 地域の要望に応え、地域に貢献する活動を行うことにより、地域から信頼される学校となる。
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	4名
	生徒	4名
	事務局(教職員)	9名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標			年 度 評 価 (3 月 9 日 現 在)				
番 号	現 状 と 課 題	評 価 項 目	具 体 的 方 策	方 策 の 評 価 指 標	評 価 項 目 の 達 成 状 況	達 成 度	次 年 度 へ の 課 題 と 改 善 策
1	本校には、幅広い学力層の生徒や特定の分野に高い関心をもって入学してくる生徒がいる。また中学校まで、目立たない存在であった生徒も多数入学している。 そこで、生徒を伸ばすために、生徒個々に応じた指導が必要である。具体的には学力の高い生徒を更に伸ばし、苦手な生徒を根柢から支える指導が求められている。そのために教員の授業力の向上はもとより、授業や課外でも補習や生徒自身が課題考察時間等を設け、生徒一人ひとりを伸ばしていく必要がある。また、生徒に、多くの経験を積ませたり、実際に世の中で役に立っている知識・技術を交えた活躍の場を与えることにより、主体的な取組につなげ、様々な分野の学力の向上を図っていく。	○授業力の向上を図る ○課外での学習を充実させる ○生徒の活躍の場を設定する	①授業公開を3回以上設定し、教員同士の授業研究を行うとともに、授業力向上の研修会を行う ②管理職が授業観察を行い、フィードバックする ①苦手な生徒を対象に、様々な学習機会を設定する ②進学希望者を中心として、進路や生徒個々に応じた指導を実施し成績伸長を図る ③新たな高大接続の対応を確実に実施するとともに効率的な指導・事務処理を確立する ①学校農業クラブ活動を計画的に行い、役員生徒及び生徒全員に、しっかり取り組ませる ②生徒会等に関する行事を生徒が中心となって運営し、充実して実施する ③行事などで生徒が活躍できる多様な場を設定する	①授業公開を3回以上、研修会を1回以上、教員同士の授業研修が行えたか ②管理職が授業観察を行い、成果と課題を授業者に伝えたか ①学習機会を設定し補習等が実施できたか。また成績不振者が減少したか ②個々の指導が実施できたか。また進路実現に効果があったか ③高大接続についての研修会を実施できたか。また校内の体制を整備できたか ①学校農業クラブ活動が、計画的にしっかり行えたか ②生徒会行事の運営に生徒が中心となり行えたか ③生徒が活躍できる場が設定できたか	授業力の向上は達成途上である。 ①授業公開を2回、研修会を3回実施。教科間の相互理解が進んだ。 ②管理職の観察が実施できた。授業者に伝え良い点、改善点を伝えた。 ①補習を実施した。従前の補習に加え、考査前に補習等を実施したが、成績不振者が増加した。 ②個々の指導は教員の個人レベルで実施してきた。効果は検証中である。 ③ポートフォリオ等の研修会を2回実施した。1学年は高大接続に備え情報を蓄積できた。 生徒活躍の場を設定できた。 ①計画的に会務・行事を実施できた。 ②生徒会の各行事に生徒の自主的運営を促す機会・組織を設定し活動を充実させた。 ③外部との連携事業や生徒募集等を設定し生徒が活躍できた。	B B A	教員の授業力向上のために、相互の授業の見学を活性化させる必要がある。そのため授業公開週間に工夫を加える必要がある。 PCによるポートフォリオの整備が急務であり、校内の体制を整える必要がある。 成績不振者の減少に向け、該当者の現状をよく把握し、個々の対策を整える必要がある。職員も多忙であり、効率的な校務処理の工夫を考える必要がある。
2	卒業後、社会人として社会生活を送る上で必要な、挨拶、服装、言葉遣い、時間を守る、清掃の取組、率先した行動、交通ルールの遵守等が十分身につけていない生徒、TPOによる使い分けができない生徒が一部いる。また、携帯電話等の使用マナーに問題がある生徒が多くみられる。 これらの生徒の中には、ルールやマナーをしっかり学ばせていくことで、社会で評価される生徒を育てていく。	○遅刻者・欠席者を減少させる ○交通事故を減少させる ○携帯電話等の使用マナーを遵守させる	①授業や行事等を定刻で開始し、チャイム着席を励行する ②個々の生徒の状況を把握し、面談による改善指導を行う ①交通ルールを学習する機会を設定する ②定期的な自転車点検を実施する ③定期的な自転車の一時停止違反、傘差し運転、イヤホンでの運転等防止のための指導を実施する ①携帯電話等の使用マナーと危険性を学習する機会を設定する ②TPOによる使用規制を実施する	①遅刻者が前年度よりも減少したか ②欠席・遅刻の多い生徒の改善指導を実施したか ①交通ルールを学習する機会が持てたか ②自転車点検を3回以上実施したか ③自転車のルール違反や危険運転等が減少したか ①学習する機会が持てたか ②TPOによる携帯電話使用の使い分けができたか	遅刻者・欠席者が減少したがまだ改善の余地がある。 ①定刻でチャイム着席を実施した。遅刻の回数1,263で17%減少した。 ②面談を実施し、各学年で改善指導を実施できた。 交通事故者は減少した。 ①自転車講習会等を実施できた。 ②自転車点検は2回実施した。 ③交通ルールの指導を強化した。交通事故が29件から12件に減少した。 マナー遵守を実現できた。 ①携帯電話マナーや危険性をテーマとした学習会が全校集会で実施できた。 ②1号館の管理諸室を使用禁止できた。マナーの向上に繋がっている。	B A A	基本的な生活習慣の確立については、現状に満足することなく粘り強く今後も指導していく必要がある。 自転車の事故は減少したが、生命にかかわることなので、今後も事故ゼロを目指して指導していく。 インターネットでの生徒間のトラブルが少なからず散見される。ネット社会の現状を正しく生徒に伝え、マナーの向上・ネット事故の防止に取り組む必要がある。
3	進路決定率が高いが、入学当初に希望する進路の実現が必ずしも順調とはいかない状況がある。また、進学者の中退や就職後の早目の離職もある。更に、高大接続改革のためポートフォリオ等の準備も必要となった。 そこで、生徒自身に明確な進路目標を早めに持たせ、入学時から授業と結びつけて着実に活動させることが大切であり、そのために進路指導の仕組みや進め方などを早めに知らせる必要がある。世の中で必要とされる人材の育成に向け、保護者の理解・協力を得るためにも、保護者にも早くからの進路情報の提供が望まれている。	○農業、関連産業の担い手を増加させる ○100%進路決定を実現させる ○早めの希望進路の検討と希望を実現させる	①1年生全員の農業・関連産業へのインターンシップの実施 ①生徒に意識付けを行い、受験先の情報収集と合格のための準備を行わせる ②学校全体で3年生の面接指導、論文指導等を行い、合格に向けた適切なアドバイスを行う ①入学後早い段階から、進路指導の仕組みや進め方を生徒・保護者に説明し、理解を進める ②早めに希望進路を検討させ、実現のための情報収集をさせ、計画的な準備・活動を行わせる	①農業・関連産業への興味関心が高まり、自らの適性が理解できたか ①生徒の進路が100%決定したか ②組織的な進路指導が行えたか ①1年及びその保護者に対して、本校の進路指導の仕組みが伝えられたか ②2年修了までに、求人票の確認やオープンキャンパスへ参加させたか	意識が高まったが、さらに改善の余地がある。 ①農関係の仕事に興味を持った者は28%。仕事の意義は87%の生徒が重要性を理解した。 100%進路決定を達成できた。 ①未定1名。100%にはならなかった。 ②進路指導部と各学年が連携した組織的な指導が実施できた。 早めに生徒の進路活動を実施できた。 ①学年PTA等で説明会を実施した。保護者の理解を深めた。 ②夏季休業の課題として確認や参加を促した。多くの生徒が活動した。	B A A	本校の本来の目的である農業や関連産業の理解を深めさせる指導を今後も継続していく必要がある。 学年PTAやで保護者向け進路行事の出席を高めるために、HP等を活用し周知を図る必要がある。 インターンシップは受け入れ側も適度な緊張感があり、良い刺激となっているようだ。生徒の満足度も高くこれからも頑張ってもらいたい。
4	地元杉戸町や、生徒の出身中学校、近隣公共施設等からの依頼、例えば新商品の開発、出前授業や見学、農産物販売などの実施が、年々増えている。できるだけ地域の要望・期待に応え、本校を一層理解していただく。 また、地域に学校の状況を知ってもらうよう、情報を発信していく。	○地域の要望へ組織的に対応する ○学校情報の積極的な提供を行う ○目的意識の高い志願者を確保する	①要望内容により校内の窓口を決め、要望に十分応えられるよう調整を図る ②対象に応じた効果的な資料作成を行い、実施する ①HPに本校の基本情報を掲載し、それを定期的に見直し、新しい情報を提供・発信する ②外部との連携事業を推進し、学校の活動を地域に広く知らせる ①中学校の出前授業、高校見学、説明会、体験入学等の機会に、積極的に本校の良さをPRする ②中学校へ情報提供等の積極的な働きかけを行う	①依頼先からの要望に応えられたか ②効果的に実施できたか ①HPに本校の最新の基本情報を掲載し話題をその都度発信できたか ②各連携事業が充実して実施できたか ①本校の中学生向け行事に参加した中学生が志願してきたか ②本校への志願者が増えたか	①係の努力により地域の出前授業の要望にはすべて応えられた。 ②中学生を対象とした効果的な資料を作成できた。 HP等改善すべき点がある。 ①基本情報等は更新できたが、ページによっては更新の頻度が低く発信できなかった。 ②連携事業は事前や事後の指導も含めて、充実して実施できた。 志願者を確保できた。 ①受検者の96%が行事参加者でありPRの効果があった。 ②働きかけで志願者が増えた。	A B A	生徒募集については、様々な工夫をして、順調に実施した。 生徒募集は粘り強く継続して取り組んでいく必要がある。

学校関係者評価	実施日 平成31年1月23日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<p>ポートフォリオの実施に伴い資格取得の在り方も考えるべきではないか。保護者としては「資格取得等にももっと力を注いでほしい。補習等も実施してほしい。」との要望がある。指導要領を逸脱することはできないと思うが、資格の取得の情報を生徒に的確に伝えることや模擬問題の工夫などまだまだ指導の工夫が考えられると思う。期待している。 農業高校であるが、基礎学力の向上は重要である。普通教科の充実を図り、生徒の学力を伸ばして欲しい。学力の向上は世に通じる人材の育成に繋がる。また専門分野に没頭するそんな学力も必要である。好きなものは上達も早い。両方追うのは難しいが、学校には複眼を持って取り組んでいただければと思っている。</p> <p>インターネットのトラブルは、1学年の早い時期に保護者も交えて、啓発を図る必要があるのではないかと。今後そういう機会をPTA行事に組み込んでよいのではないかと。 交通事故や交通のマナーの問題は、粘り強く指導する他はない。お願いしたい。 いじめがないということは、農業高校として面目躍如だと思う。生き物を扱う者として、優しさを教えるのも仕事だと思う。今後も継続した指導を望む。</p> <p>求人数が多いので、企業選択は重要。生徒の適性にあった進路を勧めるためには、企業の様子をまず先生方が理解する必要があると思う。そういった意味で企業訪問を職員が実施していることは有益である。景気の良い時こそ見極める力を養う必要がある。 インターンシップは受け入れ側も適度な緊張感があり、良い刺激となっているようだ。生徒の満足度も高くこれからも頑張ってもらいたい。</p> <p>HPは写真を多くし、学校の様子がわかるようにしたほうが良い。文字よりも映像の時代なので工夫が必要。今後期待している。 ここ10年で杉戸農業のイメージは大きく変わった。大変よくなっている。先生方のお陰でもあるが、情報がよく伝わっていることが大きな要因でもあると思う。情報発信をさらに充実させてほしい。</p>	